



マイクロソフトの 国際標準のプロセスと人材育成

マイクロソフト株式会社
法務・政策企画統括本部 技術標準部 部長
楠 正憲 <Masanori.Kusunoki@microsoft.com>

標準と市場適合性

普遍性

物理的分野での単一
性と接続性



柔軟性、革新的

論理的分野での新たな可
能性：インターフェース
と相互変換



Danke Grazie

Thank you

Obrigado

Merci

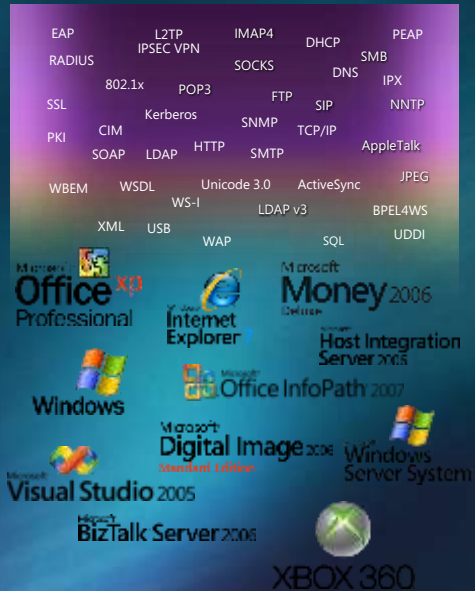
Gracias

バランス Спасибо



標準@マイクロソフト

- 年間延べ 400 を超える委員会等に参加
- 500 を超える製品に様々な標準を採用
- 何千もの標準を採用
- 数千人の社員が、標準を製品に実装
- 各国のマイクロソフトから各種標準化活動に参画



戦略的な標準化団体

- 本社部門 - 会社全体や複数の事業部門に影響のある標準化団体にフォーカス
- 事業部門 - 技術分野別に部門毎の活動



相互運用性の基盤強化

顧客と業界に傾聴し、実践的な歩み続ける



相互運用性

製品	コミュニティ	標準	利用
<p>マイクロソフトの製品と技術の提供を通じた、相互運用性の実現</p>	<p>協調や共存のため顧客・パートナー・競合他社の声を聞き、協業</p>	<p>相互運用性の実現に向けた標準化への貢献と、製品の技術標準への対応</p>	<p>他者によるマイクロソフトの技術へのアクセスを可能に</p>
			

Interoperability Principles

より多くの選択肢を提供

オープンな接続

標準のサポート

データの可搬性

オープンな取り組み

対象製品



Interoperability by design.

標準化活動を支える体制

- 社内体制の整備 (2004年から)
 - Patent Policyの転換
 - 標準化活動従事者向けe-Learningの整備
 - 参加している標準化活動の把握・情報共有
 - 標準化活動への参加承認プロセスの標準化
 - CRMによる団体・活動の一元管理
- Standards Officerの設置 (2008年から)
 - 8ヶ国にNational Standards Officerを設置
 - 8地域にRegional Standards Officerを設置
 - Advisory Boardを通じた社内各部門との連携